

日本心身医学会：東日本大震災における支援活動報告

平成 24 年 1 月 28 日

日本心身医学会理事長 久保千春

未曾有の大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

日本心身医学会では東日本大震災に伴う支援活動として、本学会員の皆様からの支援活動費義援金により、福島県相馬市及び宮城県気仙沼市の2か所に医療チームを派遣する活動を行ってまいりました。

具体的には、支援活動費義援金として110名の方から6,743,146円の募金が集まりました。この寄付金により、福島県相馬市では5月22日から7月30日までの間、毎週月曜日～土曜日に医師・心理士2～3名を1チームとして、延べ35人の医師・心理士を相馬市保健センター、公立相馬病院及び避難所などに派遣して被災者のメンタルケアを実施するとともに、東日本大震災に伴う被災者の心のケアを行っている団体の運営資金のための寄付金として、相馬市ふるさと寄付金に100万円の寄付を行いました。また、宮城県気仙沼市では5月23日から12月21日までの間、毎週月曜日～水曜日に医師1名、延べ26人の医師を気仙沼市立病院及び気仙沼市立本吉病院に派遣して病院スタッフとともに被災者の診察を行うとともに、東日本大震災に係る支援として、診療環境の改善のための寄付金として気仙沼市立病院に100万円、気仙沼市立本吉病院に70万円の寄付を行いました。

これらの支援活動の結果、医師・心理士の派遣先からは本学会の心身のケアを中心とした支援活動に対して大変感謝されているとの報告が届くとともに、相馬市及び気仙沼市立病院からは本学会からの寄付金に対して大変感謝しますとの報告が届いております。

支援活動費義援金に寄付していただいた方に厚く御礼を申し上げますとともに、本学会における東日本大震災における支援活動のご報告とさせていただきます。

○支援活動の概要

1. 支援活動費義援金

義援金の総額 6,743,146 円

義援金の人数 110 名（日本心身医学会会員の皆様及び第 52 回総会ならびに学術講演会、近畿支部地方会第 36 回講習会からの義援金）

2. 支援活動の内容

(1) 福島県相馬市

派遣先：相馬市保健センター、公立相馬病院、避難所など

派遣期間：平成 23 年 5 月 22 日（日）～7 月 30 日（土）

派遣チーム：医師・心理士 2～3 名を 1 チームとして、18 チームを編成（延べ 35 人）

派遣者氏名（敬称略）：

富田裕一郎、端詰 勝敬、松崎 淳人、石井 千恵、福田 克彦、畑 千恵子、
齋藤 君枝、大嶋 完二、本間 房恵、中井貴美子、瀧本 禎之、後藤 清恵、
穴見早友里、小野江正頼、山崎 公子、中島 弘徳、野村 恭子、河野 正明、
森屋 淳子、菅 重博、西宮 常代、丹野 優次、荻部 正巳、牧江 俊雄、
飯島 克巳、富井 悦子、益子 雅笛、黒澤 和美、鈴木 眞理、橋本 壘、
釜野 安昭、山本 哲也、矢吹 幸江、釜野 聖子、牧野有可里

活動内容：医療チームが現地の医療チームと合同で避難所等を訪問し、被災者等のメンタル
ケアの面談や、現地の医師団との情報交換を行った。

寄 付 金：東日本大震災に伴う被災者の心のケアを担っている団体の運営資金として相馬市
ふるさと寄付金に 100 万円を寄付した。

(2) 宮城県気仙沼市

派遣先：気仙沼市立病院、気仙沼市立本吉病院など

派遣期間：平成 23 年 5 月 23 日（月）～12 月 21 日（水）

派遣人数：医師を 1 人当たり 2 泊 3 日（月～水）で期間中延べ 26 人を派遣

派遣者氏名（敬称略）：

遠藤 由香、金澤 素、町田 知美、鹿野 理子、高倉 修、佐藤 純香、
棚橋 徳成、原 信一郎、阿部 哲也、古川 智一、長井 信篤、土井 麻里、
網谷 東方、秋坂 真史、山根 朗、権藤 元治、岡本 敬司、安野 広三、
大林美由樹、朝野 泰成、澤本 良子、水野 泰行、今泉 澄人、波多 伴和、
西山 順滋、中山 智恵

活動内容：医師を気仙沼市立病院及び気仙沼市立本吉病院に派遣し、現地の病院スタッフと
ともに災害後ストレス外来で患者さんの診察や医療スタッフとの情報交換を行っ
た。

寄 付 金：東日本大震災に係る支援として診療環境の改善のための寄付金として気仙沼市立
病院に 100 万円、気仙沼市立本吉病院に 70 万円を寄付した。